

## 令和元年度一般会計決算の概要

### ● 歳入

定住人口の増加などに伴い、市税収入のうち個人市民税が前年度比1億5615万円、固定資産税が2億4380万円の増収になったことにより、市税全体では4億4118万円の増収となりました。

また、国庫支出金は13億8143万円、市債は8億2990万円、地方特例交付金は2億770万円の増収となる一方、分担金及び負担金は2億8766万円の減収となりました。

この結果、歳入の決算額は、前年度比32億8474万円、7.3%増の482億6996万円となりました。

### ● 歳出

歳出については、令和元年度から4か年の市政運営の道標となる第2次基本計画のスタート年として、オーガニックなまちづくりのステップアップを図り、持続可能なまちづくりを推進するための施策に取り組みました。

主な内容としては、防災行政無線のデジタル化整備や木更津第二小学校の耐震性貯水槽の補修工事などにより、地域防災力の強化に取り組んだほか、待機児童の解消に向け、民間保育園の施設整備を支援、市立保育園の保育士確保による子育て環境の充実、小中学校の空調整備工事などによる教育環境の充実、内港周辺地区の魅力増進を図るパークベイプロジェクトの推進など、基本構想に定めるまちづくりの基本方向に従い各種事業に取り組みました。

さらに、甚大な被害をもたらした災害対応といたしまして、被災住宅の修繕の助成や公共施設の復旧事業などに取り組みました。

この結果、歳出の決算額は、前年度比28億7014万円、6.6%増の460億8278万円となりました。

### ● 収支の差し引き額

令和2年度に繰り越した事業を除く実質収支額は、15億2930万円の黒字となりました（実質収支額のうち、12億2930万円は財政調整基金へ積み立てました。）。